

第4回臨時会

第4回臨時会を5月15日に開会し、各常任委員会委員の選任（14～15ページをご覧ください）、川越地区消防組合議会議員の選挙、市政報告等が行われ、同日閉会しました。

市政報告 東松山市地内発生少年死亡事件に係る報告書について

事件の概要

平成28年8月、東松山市で少年が死亡しているのが発見された。この件に関与した疑いで、本市の中学生が逮捕され、その後、少年院送致となった。

事件発生後の市教育委員会の主な対応

- ア 当該中学校への緊急対応
- イ 埼玉県教育委員会・東松山市教育委員会との合同検証委員会への出席
- ウ 川越市として検証のための会議、川越市関係者会議の設置

検証と考察

この報告書は、県との合同検証委員会、市の検証のための会議および関係者会議を経て、まとめたもので、

- (1) 児童生徒理解
 - (2) 校内指導体制
 - (3) 家庭・地域との連携
 - (4) 学校、教育委員会、関係機関の連携
- の4つの視点で、検証と考察を行った。

再発防止に向けて今後取り組みの強化を行う主なもの

- (1) 教育委員会としての取り組み
- 児童生徒がいじめや暴力行為について自ら考え、お互いを尊重し合う態度を育成するための教育活動を推進する。また、基礎学力の定着に向け、個に応じたきめ細かな指導を、より一層充実させる。

(2) 各市立学校に求める取り組み

いじめや暴力行為をしない態度を育成する教育活動を推進する。また、学校がチームとなり、粘り強く、あきらめない生徒指導を継続する。小さな変化も見逃さず、情報を共有し、適切な早期対応を行う。

(3) 家庭・地域との連携推進

学校だけでは支援が難しい児童生徒への具体的な支援を検討する場となるよう、個別のケース会議の開催について、学校・教育委員会・関係機関で協議し、そのあり方について見直し、検討していく。

(4) 関係機関との連携推進

各機関のもつ機能や役割を教育委員会・学校は熟知した上で、より実効性のある連携を図り、各機関の特性を生かした対応を円滑に進めるため、教育委員会としても迅速な対応、各機関との調整に努めていく。

結びに

今回の事案を契機として、このような痛ましい事故が二度と起こらないようにするために、もう一度、家族のつながり、家庭教育のあり方、地域社会の役割を見直し、学校、家庭、地域を含めた社会全体で考えていく。

この報告書については、今後、市民、各学校に示し、今回のような事件の再発防止のために、またいじめの未然防止、不登校の対応に生かし、各学校においては、改めて生徒指導のあり方について、見直すとともに学校教育活動の充実資するよう活用していく。

消防組合議会議員

▼川越地区消防組合議会議員の選挙

第4回臨時会において選挙を行った結果、次の議員が当選しました。

- 吉野 郁 恵
 - 明ヶ戸 亮 太
 - 柿田 有 一
 - 高橋 剛
 - 関口 勇
 - 吉田 光 雄
 - 小野澤 康 弘
 - 小ノ澤 哲 也
 - 片野 広 隆
- なお、5月23日に消防組合議会が開催され、議長に小林薫議員、副議長に高橋剛議員、監査委員に片野広隆議員が選出されました。

▼川越地区消防組合議会議員の補欠選挙

1名の欠員が生じたため、第5回定例会において選挙を行った結果、次の議員が当選しました。

- 桐野 忠